



古今類句

い 身之句





昭和五十年、藤園堂にて求む

估価参万五千円

村井順



長秋詠藻	きく初一きくはるのまことて	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて
金葉冬	秋葉月まこれの西はあつまに	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて
同秋	小秋のまことて	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて
玉葉冬	なつてのまことて	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて
新秋拾上	松をこれたて	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて
壬生二下中	あつてのまことて	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて
後撰雑三	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて
千載秋上	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて
新秋下	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて
古今春下	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて
後撰夏	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて
拾玉集三	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて
後撰雑四	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて
玉葉雜一	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて
長秋詠藻下	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて
拾玉集二	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて	いらくよはるのまことて

頁ノ、

新撰秋之 秋の野の草花を衣之と云く 二條院春河内侍

新撰秋下 月影のかりつらうをさうきて 按察使云

壬生二系 美代もつゆよりみらぬ宿の松 貫之

山家集上 香雪をまの心志めぬ梅の花

風雅事平 ちりまのけつわうはうをこれ

拾玉集三 雪の末末よき并の初雪より

同二 ちりまの雪の影乃かたうを

残子系一 人志れぬころはあまのほろ

新撰秋下 ちりまの雪の影乃かたうを

同六 ちりまの雪の影乃かたうを

金葉系下 ちりまの雪の影乃かたうを

新撰拾系一 ちりまの雪の影乃かたうを

風雅系一 ちりまの雪の影乃かたうを

同雅下 ちりまの雪の影乃かたうを

残千系一 ちりまの雪の影乃かたうを

新撰古系一 ちりまの雪の影乃かたうを

古今系一 ちりまの雪の影乃かたうを

早殿 ちりまの雪の影乃かたうを

残拾系四 ちりまの雪の影乃かたうを

壬生二系上 ちりまの雪の影乃かたうを

拾遺負外 ちりまの雪の影乃かたうを

拾遺系下 ちりまの雪の影乃かたうを

残子神祇 ちりまの雪の影乃かたうを

残撰撰春上 ちりまの雪の影乃かたうを

残拾系一 ちりまの雪の影乃かたうを

二條院春河内侍

按察使云

貫之

前右大臣

藤原道隆

源兼昌

九條心大直

大和守

二系法親王

大土御言

後醍醐天皇

崇光天皇

後醍醐院大納言

崇光院大納言

藤原親王

藤原親王

藤原親王

藤原親王

藤原親王

藤原親王

藤原親王

藤原親王

藤原親王

藤原親王

後拾雅中

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

良華宗貞

大和拾雅

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

源重之

新拾雅下

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

中納言藤原

玉葉拾雅

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

紀重之

月清集上

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

神祇伯頭中

金葉集

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

藤河院伯頭

後拾雅中

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

拾遺集

新千秋下

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

順徳院伯頭

後古秋下

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

後撰秋下

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

拾玉集四

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

風雅雜上

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

拾玉集六

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

新拾雅秋

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

千秋秋上

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

壬生二品中

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

後古集一

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

後拾雅上

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

壬生二品中

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

月清集上

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

後拾雅三

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

玉葉集

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

新千秋上

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

拾遺集外

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

風雅秋下

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

古今秋下

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

風雅集上

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

後拾雅下

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

拾遺集下

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

拾遺集

あつたのよめをよき味川

あつたあつたよき味川

在原元方

玉葉秋上 色きわゆる秋のちり霞 後三位信
 拾遺秋 色ゆかきみみ ぬるふ 夕人志す
 拾遺集外上 色めくくまきれけり 花東雅集
 金葉秋 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 後撰撰集上 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 新秋下 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 壬生二上 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 後撰集上 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 同上 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 月清集上 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 拾玉集三 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 新拾秋下 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 古今志四 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 拾遺集系 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 後千尺教 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 新秋二 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣

新秋志四 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 後拾雅上 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 新撰古春 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 後千秋下 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 玉葉集上 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 拾遺集系下 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 後撰集上 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 山家集上 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 玉葉集系 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 同又 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 後撰撰集下 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 新撰集系 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 新古志一 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 月清集上 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 壬生二下 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 新撰集系 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 新撰古雅中 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣
 拾玉集七 色めくくまきれけり 菅贈太政大臣

侍後具定母
 西行法師
 後深心院
 母貞之
 九條右大臣女
 大納言藤原
 後三位左大臣
 八條院
 菅中納言
 菅中納言
 大納言通方
 後二位左大臣

後拾遺

いよせん社のおぬき

いよぬらうみちるん

在東為經

後拾遺

一編よこひあふぬ

いよぬらうみちるん

花園院

後拾遺

思ふ心はあはれ

いよぬらうみちるん

内大臣

月清集下

山吹の花はあはれ

いよぬらうみちるん

在東為經

山家集下

かひりく雅人の

いよぬらうみちるん

在東為經

長秋詠集

かたはれはあはれ

いよぬらうみちるん

在東為經

後拾遺

けせあはれあはれ

いよぬらうみちるん

平政村綱

後拾遺

みづもあはれあはれ

いよぬらうみちるん

春安大夫

金葉集上

思ひあはれあはれ

いよぬらうみちるん

在東為經

後拾遺

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

新古今

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

壬生三上

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

後拾遺

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

新古今

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

後拾遺

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

壬生三上

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

金葉集上

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

後拾遺

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

新古今

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

後拾遺

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

壬生三上

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

金葉集上

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

後拾遺

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

新古今

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

後拾遺

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

壬生三上

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

金葉集上

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

後拾遺

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

新古今

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

後拾遺

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

壬生三上

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

金葉集上

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

後拾遺

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

新古今

いよぬらうみちるん

いよぬらうみちるん

在東為經

新羅古體 秀保の山の赤や、ゆるり、いそひたるぬきつたる、前大僧正道良
 後千雅中 為さそととくも、松の傍に、いそひたるぬきつたる、法由寺神樂
 新秋古冬 昔の河津乃高、源よりして、いそひたるぬきつたる、後系極持政前
 手載賀 神代よりいそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、源後持政
 新羅古體 水の上の文立と、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、後系極持政
 新拾遺 冬枯の香つた、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、後系極持政
 後拾遺一 あり、源乃源を、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、源後持政
 新千律 衣 衣のつら、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、後系極持政
 後拾遺上 秀保も、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、後系極持政
 金系秋 さる、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、源後持政
 壬生二系中 山風の吹、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、秀平法行
 新後拾遺春 松風の吹、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、大納言後實
 新勅二 世のぬき、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、上野寺持水
 新葉返 うつれ、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、蓮華院持水
 壬生二系中 却とて、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、蓮華院持水
 後拾遺上 衣のつら、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、蓮華院持水
 壬生二系上 ちとぬ、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、蓮華院持水

新千巻 君の代の春、君の浦乃、いそひたるぬきつたる、右系極持政
 長秋採條 君の代、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、右系極持政
 乙女 風よ、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、小井
 拾玉集一 吉野の山、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、前大納言持水
 後千賀 君の代、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、小井
 新千巻上 子目も、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、前大納言持水
 後拾遺上 かの、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、民部卿持水
 金系三 つと、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、小井
 壬生二系上 つけ、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、小井
 後拾遺 風雅、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、進子内親
 拾遺上 昔も、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、進子内親
 新拾遺 今、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、人丸
 後拾遺 今、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、人丸
 後拾遺 今、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、人丸
 拾遺上 今、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、人丸
 新拾遺 今、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、人丸
 拾遺上 今、いそひたるぬきつたる、いそひたるぬきつたる、人丸

新撰古今一 志とせしむるものもよきはてきせしむるものもよき
新撰拾遺 神山の林葉とてしむるものもよき
山家集上 山下の山吹のつらむものもよき
拾玉集七 宿のやもとのつらむものもよき
新撰拾遺 宿のやもとのつらむものもよき
山家集下 何れもよきものもよき
後拾遺上 何れもよきものもよき
後拾遺下 何れもよきものもよき
壬生二下 何れもよきものもよき
山家集下 何れもよきものもよき
新撰古今一 何れもよきものもよき
古今雜下 何れもよきものもよき
壬生二上 何れもよきものもよき
月清集下 何れもよきものもよき
拾遺古今 何れもよきものもよき
新撰古今 何れもよきものもよき
後撰拾遺 何れもよきものもよき
長秋詠 何れもよきものもよき

新撰古今一 志とせしむるものもよき
新撰拾遺 神山の林葉とてしむるものもよき
山家集上 山下の山吹のつらむものもよき
拾玉集七 宿のやもとのつらむものもよき
新撰拾遺 宿のやもとのつらむものもよき
山家集下 何れもよきものもよき
後拾遺上 何れもよきものもよき
後拾遺下 何れもよきものもよき
壬生二下 何れもよきものもよき
山家集下 何れもよきものもよき
新撰古今一 何れもよきものもよき
古今雜下 何れもよきものもよき
壬生二上 何れもよきものもよき
月清集下 何れもよきものもよき
拾遺古今 何れもよきものもよき
新撰古今 何れもよきものもよき
後撰拾遺 何れもよきものもよき
長秋詠 何れもよきものもよき

頁

上

山部集十 雪のふりよるまはるるはるるに
 捨玉集四 けしきつよせぬゆゆとすて
 古今賀 玉白野よりかきくまはるる
 孫古賀春 今かきく風をよむる 善哉阿
 捨遺書事 君の世よせさつるをほめ
 手裁賀 木地さるる八十字流川の事
 孫拾冬 けしきつよせぬゆゆとすて
 捨遺書事上 雪のふりよるまはるるはるるに
 孫古賀秋中 月影のふりよるまはるるに
 孫拾冬下 けしきつよせぬゆゆとすて
 孫古賀下 水よみ橋ちるるに
 孫拾冬下 けしきつよせぬゆゆとすて
 孫古賀上 雪のふりよるまはるるはるるに
 孫古賀中 暁のまはるるまはるるに
 孫古賀下 けしきつよせぬゆゆとすて
 孫古賀春 光のふりよるまはるるに
 孫古賀教 雪のふりよるまはるるはるるに

孫古賀下 けしきつよせぬゆゆとすて
 孫古賀上 雪のふりよるまはるるはるるに
 孫古賀中 暁のまはるるまはるるに
 孫古賀下 けしきつよせぬゆゆとすて
 孫古賀春 光のふりよるまはるるに
 孫古賀教 雪のふりよるまはるるはるるに
 孫古賀下 けしきつよせぬゆゆとすて
 孫古賀上 雪のふりよるまはるるはるるに
 孫古賀中 暁のまはるるまはるるに
 孫古賀下 けしきつよせぬゆゆとすて
 孫古賀春 光のふりよるまはるるに
 孫古賀教 雪のふりよるまはるるはるるに

孫古賀下 けしきつよせぬゆゆとすて
 孫古賀上 雪のふりよるまはるるはるるに
 孫古賀中 暁のまはるるまはるるに
 孫古賀下 けしきつよせぬゆゆとすて
 孫古賀春 光のふりよるまはるるに
 孫古賀教 雪のふりよるまはるるはるるに

新撰卷一 うさむかひてあふつてむつさ
 春遊集外下 うさむかひてあふつてむつさ
 新撰卷二 さあけれおのゝたけのまき
 新撰卷三 さあけれおのゝたけのまき
 新撰卷四 さあけれおのゝたけのまき
 新撰卷五 さあけれおのゝたけのまき
 新撰卷六 さあけれおのゝたけのまき
 新撰卷七 さあけれおのゝたけのまき
 新撰卷八 さあけれおのゝたけのまき
 新撰卷九 さあけれおのゝたけのまき
 新撰卷十 さあけれおのゝたけのまき

壬生二系上 家なきのゆゑもあめりまけ
 壬生二系中 家なきのゆゑもあめりまけ
 新撰卷一 家なきのゆゑもあめりまけ
 新撰卷二 家なきのゆゑもあめりまけ
 新撰卷三 家なきのゆゑもあめりまけ
 新撰卷四 家なきのゆゑもあめりまけ
 新撰卷五 家なきのゆゑもあめりまけ
 新撰卷六 家なきのゆゑもあめりまけ
 新撰卷七 家なきのゆゑもあめりまけ
 新撰卷八 家なきのゆゑもあめりまけ
 新撰卷九 家なきのゆゑもあめりまけ
 新撰卷十 家なきのゆゑもあめりまけ

新後古志一 涼かろ神としみ世々秋山乃
皇太后大木
後成

新後古志二 冬これ氷と名の老松を忘
前山山雅孝

胡蝶 山をわたりる秋の夕すそ
皇太后大木
後成

新後古志五 月影をとりて見ても
皇太后大木
後成

新後古志六 花のちこけのまをわねを
皇太后大木
後成

新後古志七 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志八 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志九 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志十 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志十一 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志十二 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志十三 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志十四 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志十五 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志十六 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志十七 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志十八 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志十九 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志二十 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志二十一 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志二十二 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志二十三 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志二十四 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志二十五 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志二十六 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

風雅雜下 君をわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

後千冬 冬これ氷と名の老松を忘
皇太后大木
後成

拾玉集六 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

拾玉集外 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

拾玉集二 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

壬生二五中 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

山吹集上 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

拾遺集外上 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新古冬 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

後千冬 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

山吹集下 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

修習物語 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

拾遺集外 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

後千冬 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志上 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

拾玉集六 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

新後古志冬 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

月清集年 友のわたり月をわねのまを
皇太后大木
後成

拾玉集五

つりそめと君のみく人ひのそは

いふもあつらふは山さけ

皇女大史

壬生三三

秋風よおとよの清ねのけき

いかりのそねをわらうは

皇女大史

拾玉集二

秋のよとあやうぬ小山四

いかりのそねをわらうは

皇女大史

同二

夕風よいあまの暮ねはあま

いかりのそねをわらうは

皇女大史

張子雜上

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

拾玉集二

秋のよとあやうぬ小山四

いかりのそねをわらうは

皇女大史

山部集上

小秋山四ねはあまのそね

いかりのそねをわらうは

皇女大史

拾玉集上

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

大和物語

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

後拾遺上

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

拾玉集三

君う代乃あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

壬生三三

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

同上

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

新拾遺下

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

拾遺上

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

古今急五

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

拾遺上

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

後撰多六

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

風雅多

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

古今急五

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

拾遺上

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

後撰多六

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

風雅多

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

古今急五

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

拾遺上

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

後撰多六

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

風雅多

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

古今急五

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

拾遺上

あまのそねをわらうは

いかりのそねをわらうは

皇女大史

楊州

新古雜上

新古雜下

新古雜別

新古集上

新古集下

新古集別

新古集三

新古集四

新古集別

新古集二

新古集一

新古集別

新古集上

新古集下

新古集別

新古集三

新古集四

まのあつたはなはらと秋意乃

大なる小波の松葉をまじ

花のちりりかひてしるる

まのあつたはなはらと秋意乃

秋のまをむもひもあぬを

まのあつたはなはらと秋意乃

かきせも老かきせ梅のそ

月影乃初霜のそまをれん

白ゆ乃種のもを月影のそ

まのあつたはなはらと秋意乃

山乃たつたはなはらと秋意乃

叶もあはれ秋もあはれ

なつたはなはらと秋意乃

あつたはなはらと秋意乃

秋のあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

福もあつたはなはらと秋意乃

まのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

中納言の忠

中納言の忠

中納言の忠

中納言の忠

中納言の忠

中納言の忠

中納言の忠

中納言の忠

中納言の忠

中納言の忠

中納言の忠

中納言の忠

中納言の忠

中納言の忠

中納言の忠

中納言の忠

中納言の忠

中納言の忠

後拾遺上

後拾遺下

大和物語

新古今上

新古今中

後拾遺上

後拾遺下

後撰哀傷

新撰哀傷

拾玉集上

新古今上

新古今中

新古今下

月清集上

新古今上

新古今中

新古今下

後拾遺上

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

いづのあつたはなはらと秋意乃

大中臣経高

三条 隆良

おとと

式部卿

少将并臣

道念法師

つとむさ

らんま

後村正徳

中務

土御門内大臣

信慎公

中務

中務

中務

中務

中務

中務

新撰古林上

家心月... ちてあつしれい

い... ちの言をれ

修る肉教

新撰玉集一

都賀... ちの言をれ

い... ちの言をれ

和泉式

拾遺玉集六

ちの言をれ

い... ちの言をれ

肉大旨

新撰千五

村の言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

拾遺玉集上

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

古今雅下

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

停勢拙終

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰拾遺二

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

後撰類

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

金葉集上

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

山家集上

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

玉葉雅四

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰古春上

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

玉葉冬

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰春中

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰名目

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

壬生三下

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰古秋上

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰古冬

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

壬生三上

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

風雅雜下

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

金葉秋

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰古春上

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰古春下

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰古秋

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

同

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰古冬

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰古春

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰古秋

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰古冬

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰古春

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰古秋

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰古冬

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新撰古春

ちの言をれ

い... ちの言をれ

浄妙

新後古雅上 神のまほもほろく 園の秋のまよ
 けりてあふりゆく ちかまうと忍草
 は拾遺秋上 さうてふはふらとまう 秋の野ま
 壬生二上上 うりあふりゆく ちかまうと忍草
 新初喜上 後みよりほろく ちかまうと忍草
 後撰巻一 たふらとまう ちかまうと忍草
 新拾春上 あささきより ちかまうと忍草
 拾遺雅下 むらむらひのちかまうと忍草
 同 かけまはれ ちかまうと忍草
 同色又 わらわのちかまうと忍草
 新古巻又 教あふりゆく ちかまうと忍草
 拾遺雅秋 七夕のちかまうと忍草
 壬生二下 夕暮のちかまうと忍草
 古今巻五 志まうと忍草
 手裁巻二 玉もかち ちかまうと忍草
 後千層巻 旅まうと忍草
 後撰巻二 ちかまうと忍草
 新葉雅上 君の代のまうと忍草

新古春下 花まうと忍草
 後千巻二 つらまうと忍草
 新古巻二 ちかまうと忍草
 新拾春上 わらわのちかまうと忍草
 新後古雅上 花まうと忍草
 壬生二上 ちかまうと忍草
 新拾雅上 白まうと忍草
 後拾遺春上 ちかまうと忍草
 風雅雅下 ちかまうと忍草
 月清集下 ちかまうと忍草
 新古春上 ちかまうと忍草
 新千巻三 ちかまうと忍草
 新後拾春上 ちかまうと忍草
 拾玉集三 ちかまうと忍草
 拾遺巻三 ちかまうと忍草
 金葉巻上 ちかまうと忍草

新千集名

うらなひのついでに

いふはしりしあはれ

新千集上

まはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集下

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

拾玉集四

月も月もあはれ

いふはしりしあはれ

玉葉集三

いふはしりしあはれ

いふはしりしあはれ

後古尺教

うらなひのついでに

いふはしりしあはれ

拾遺雜志

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集下

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

山吹集下

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

拾玉集二

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

同三

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

山吹集下

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

後拾遺集二

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

拾遺集上

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集下

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集上

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集下

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集上

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集下

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

同下

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

拾玉集一

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

風雅雜中

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

金葉集下

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集下

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

後拾遺集下

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集上

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

拾玉集一

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

玉葉集四

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

同旅

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集上

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

拾玉集六

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集二

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

玉葉集三

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集一

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集一

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集一

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集一

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集一

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集一

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集一

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集一

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集一

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

新千集一

あはれはあはれ

いふはしりしあはれ

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

徳田宗景

古今冬

拾遺卷三

新撰古冬

同卷二

玉葉秋下

同雅又

新撰古秋上

新撰卷一

新撰春下

千秋雅上

壬生二系上

玉葉秋下

玉葉雅二

同雅一

新撰尺教

山家集十

同上

冬の山は白雪の如く

しちたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

吉野山と物つる雪や積る人

あつたのふのえり山あり

をいさくをいさく山を月影の

世とまをくれりまのちのちの

五明の宮少そはつら山の人

悲の心まけさ小藤の雪止む

花より月をそらひ情ひき

さひさひ月をそらひ情ひき

りまははははははははははは

橋を松吹くさうさうさうさ

は夕へ浦の陰風ゆらあられ

長月のまの月とらららららら

ぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬ

梅の枝出づるさうさうさうさ

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

僧都海航

大上天皇

大上天皇

大上天皇

大上天皇

大上天皇

大上天皇

大上天皇

大上天皇

大上天皇

大上天皇

大上天皇

大上天皇

大上天皇

大上天皇

大上天皇

大上天皇

拾遺卷外

新撰秋下

拾遺卷外上

新撰秋下

新撰古冬

新撰拾雅上

壬生二系中

於送惠草

新撰秋下

玉葉雅

新撰古秋下

新撰卷二

同清集上

新撰拾冬

新撰卷二

新撰雅旅

芦乃とも下あれそそあはれ

うかろ芦のまき葉は風さそ

つらあそそそそそそそそそ

やまあそそそそそそそそそ

あそそそそそそそそそそそ

あそそそそそそそそそそそ

あそそそそそそそそそそそ

あそそそそそそそそそそそ

あそそそそそそそそそそそ

あそそそそそそそそそそそ

あそそそそそそそそそそそ

あそそそそそそそそそそそ

あそそそそそそそそそそそ

あそそそそそそそそそそそ

あそそそそそそそそそそそ

あそそそそそそそそそそそ

あそそそそそそそそそそそ

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

あつたのふのえり山あり

常盤井道

お大政大下

お大政大下

お大政大下

お大政大下

お大政大下

お大政大下

お大政大下

お大政大下

お大政大下

お大政大下

お大政大下

お大政大下

お大政大下

お大政大下

お大政大下

お大政大下

数命

聖

和四家集

和四家集はとていひしつて

入世をうる山のともあり

法徳寺

新古今春上

かこは海乃重敷はまうりあつた

入世をある法徳寺

中務の宗

後拾遺春上

浦と秋き雅はのきれくあつた

入世をある法徳寺

道三位

新拾遺中

清もくもくはあつた

入世をある法徳寺

土門院

後古今冬

清もくもくはあつた

入世をある法徳寺

式部

山家集下

清もくもくはあつた

入世をある法徳寺

式部

新古今冬

清もくもくはあつた

入世をある法徳寺

式部

風雅雜中

清もくもくはあつた

入世をある法徳寺

式部

同友

清もくもくはあつた

入世をある法徳寺

式部

同雅中

清もくもくはあつた

入世をある法徳寺

式部

同

清もくもくはあつた

入世をある法徳寺

式部

金葉雜上

清もくもくはあつた

入世をある法徳寺

式部

新拾遺中

清もくもくはあつた

入世をある法徳寺

式部

後拾遺

清もくもくはあつた

入世をある法徳寺

式部

後古今友

清もくもくはあつた

入世をある法徳寺

式部

山家集上

清もくもくはあつた

入世をある法徳寺

式部

風雅雜中

清もくもくはあつた

入世をある法徳寺

式部

新後教

清もくもくはあつた

入世をある法徳寺

式部

新千雅下

梓弓りのあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

同中

梓弓りのあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

長秋詠藻

みるん心もつてあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

金葉秋

みるん心もつてあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

山家集上

みるん心もつてあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

風雅春中

みるん心もつてあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

新古今冬

みるん心もつてあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

風雅雜上

みるん心もつてあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

後花雅上

みるん心もつてあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

風雅春中

みるん心もつてあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

玉葉秋下

みるん心もつてあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

同友

みるん心もつてあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

未摘花

みるん心もつてあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

玉葉秋下

みるん心もつてあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

拾遺集上

みるん心もつてあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

壬生二雨中

みるん心もつてあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

古今春下

みるん心もつてあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

一裁

みるん心もつてあひまきうつぬ

つるさ山乃かた

源信成

新拾遺一 野もも何の山もあはぬ
 後千秋下 予もも山ももあはぬ
 壬生二不上 梓弓ひけしと末らうくハ
 風雅急一 吾もも山ももあはぬ
 後拾遺林 文もも山ももあはぬ
 後拾遺林上 文もも山ももあはぬ
 同 今もも山ももあはぬ
 新拾遺林上 今もも山ももあはぬ
 山亦集上 今もも山ももあはぬ
 拾遺急急 今もも山ももあはぬ
 金葉難一 今もも山ももあはぬ
 若来上 今もも山ももあはぬ
 山亦集下 今もも山ももあはぬ
 河死雅上 今もも山ももあはぬ
 同秋 今もも山ももあはぬ
 玉葉難一 今もも山ももあはぬ
 後古秋上 今もも山ももあはぬ

新千文 明もも山ももあはぬ
 拾玉集一 世もも山ももあはぬ
 風雅冬 世もも山ももあはぬ
 拾玉集七 世もも山ももあはぬ
 新拾遺一 世もも山ももあはぬ
 金葉春 世もも山ももあはぬ
 未摘花 世もも山ももあはぬ
 長秋詠下 世もも山ももあはぬ
 壬生二不中 世もも山ももあはぬ
 風雅冬 世もも山ももあはぬ
 後拾遺一 世もも山ももあはぬ
 後拾遺下 世もも山ももあはぬ
 壬生二不下 世もも山ももあはぬ
 夕顔 世もも山ももあはぬ
 新古冬 世もも山ももあはぬ
 山亦集上 世もも山ももあはぬ
 後千秋下 世もも山ももあはぬ
 後玉集一 世もも山ももあはぬ

任逢春 かつきぬらひわく世あり世の
 拾遺集外上 及芝やうれまはつはあはれも
 拾玉集八 山さけん乃手おれりれぬおを
 新千雜下 まは鏡をまぬ新もわつたを
 金葉集上 けりともまろちあつたを
 強後撰八 うれ名のときまは海すまは
 金葉集上 秋風は吹くまはれく暮れし乃
 新後撰上 秋風は吹くまはれく暮れし乃
 拾遺集下 谷せえまろちあつたを
 後撰拾遺 谷せえまろちあつたを
 後古集八 ありまろちあつたを
 風雅雜下 ありまろちあつたを
 拾遺雜上 ありまろちあつたを
 同 ありまろちあつたを
 月清集下 ありまろちあつたを
 千載集 ありまろちあつたを
 壬生集上 ありまろちあつたを
 新拾遺四 ありまろちあつたを

出羽辨

柳 ありまろちあつたを
 後拾遺五 ありまろちあつたを
 後拾遺雜三 ありまろちあつたを
 新千集 ありまろちあつたを
 同 ありまろちあつたを
 後拾遺集傷 ありまろちあつたを
 金葉集八 ありまろちあつたを
 古今集八 ありまろちあつたを
 後拾遺五 ありまろちあつたを
 新後撰拾遺 ありまろちあつたを
 新古集教 ありまろちあつたを
 拾玉集三 ありまろちあつたを
 拾遺集傷 ありまろちあつたを
 壬生集下 ありまろちあつたを
 拾玉集一 ありまろちあつたを
 風雅集上 ありまろちあつたを
 同 ありまろちあつたを

後三位家隆
 喜日比乎

仁傑雅一 志望しつてあてもかき世中よ
 新撰拾遺 吹風は嵐とてのうきさのれ
 後拾遺雅二 やまのひよまのまのれんそん
 千載友 名の船は月の光のさしあつ
 拾遺自外下 三橋は山まのさすむとるさ川
 新古雅中 力をとるのさし海のとあひつ
 後千急回 了れまのさるれまのさるれまのさる
 後撰雅集 世中いもとるまのさるれまのさる
 新古急回 了れまのさるれまのさるれまのさる
 新拾遺四 うつまのさるれまのさるれまのさる
 伴勢物語 ちまのさるれまのさるれまのさる
 新勅急回 あつらぬ命は雅よまのさるれまのさる
 後拾遺二 ぬつらぬ命は雅よまのさるれまのさる
 新千急回 ぬつらぬ命は雅よまのさるれまのさる
 拾遺急回 ぬつらぬ命は雅よまのさるれまのさる
 新拾遺回 ぬつらぬ命は雅よまのさるれまのさる
 新古急回 ぬつらぬ命は雅よまのさるれまのさる
 後拾遺五 ぬつらぬ命は雅よまのさるれまのさる

しのあつたさ成らん ちく尺
 しのあつたさ成らん 寶篋院贈在末
 しのあつたさ成らん 和泉式ア
 しのあつたさ成らん 後部省権成仲
 しのあつたさ成らん 能宣約片
 しのあつたさ成らん 後三位約片
 しのあつたさ成らん 後法師
 しのあつたさ成らん 能宣約片
 しのあつたさ成らん 皇太后聖徳成
 しのあつたさ成らん 平時村
 しのあつたさ成らん 前儀雅有
 しのあつたさ成らん 源義氏約片
 しのあつたさ成らん 持中納言俊宗
 しのあつたさ成らん ちとちと通志

新撰拾遺上 しのあつたさ成らん
 新勅急回 しのあつたさ成らん
 新古急回 しのあつたさ成らん
 後撰雅集 しのあつたさ成らん
 後拾遺雅中 しのあつたさ成らん
 拾遺急回 しのあつたさ成らん
 後千急回 しのあつたさ成らん
 新古急回 しのあつたさ成らん
 後拾遺四 しのあつたさ成らん
 伴勢物語 しのあつたさ成らん
 新勅急回 しのあつたさ成らん
 後拾遺二 しのあつたさ成らん
 新千急回 しのあつたさ成らん
 拾遺急回 しのあつたさ成らん
 新拾遺回 しのあつたさ成らん
 新古急回 しのあつたさ成らん
 後拾遺五 しのあつたさ成らん

しのあつたさ成らん ちく尺
 しのあつたさ成らん 寶篋院贈在末
 しのあつたさ成らん 和泉式ア
 しのあつたさ成らん 後部省権成仲
 しのあつたさ成らん 能宣約片
 しのあつたさ成らん 後三位約片
 しのあつたさ成らん 後法師
 しのあつたさ成らん 能宣約片
 しのあつたさ成らん 皇太后聖徳成
 しのあつたさ成らん 平時村
 しのあつたさ成らん 前儀雅有
 しのあつたさ成らん 源義氏約片
 しのあつたさ成らん 持中納言俊宗
 しのあつたさ成らん ちとちと通志

類句 六

後拾遺集 花院皇后之
 新千春下 ちりまのつばねのつばね
 拾遺名二 かねぬらうのつばねのつばね
 新拾遺冬 さうてのつばねのつばねのつばね
 後拾遺下 多乃世は別く後乃さうて
 新拾遺別 何事もかこひてさうてつれ
 後千名一 悲しくもあはれさうてさうて
 拾遺名二 すまじくもあはれさうてさうて
 後古名一 社の上はあはれさうてさうて
 後拾遺名三 ねさむなるさうてさうての月影
 古今名三 名も川をたひしれ本影もさうて
 新拾遺名二 面影のさうてさうてさうて
 後千名中 生る今あけさうてさうての世を
 後拾遺集 力いさぬさうてさうてさうて
 河花名上 さうてさうてさうてさうて
 新拾遺集 何人もあはれさうてさうての世を
 新拾遺集 かねぬらうのつばねのつばね
 後古名二 さうてさうてさうてさうて

山家集下 けりけりあはれさうてさうて
 柏木 さうてさうてさうてさうて
 新古名二 ねさむなるさうてさうて
 後拾遺名三 ねさむなるさうてさうて
 千載名四 さうてさうてさうてさうて
 山家集 ねさむなるさうてさうて
 拾玉集六 さうてさうてさうてさうて
 後拾遺春 ねさむなるさうてさうて
 河花名上 さうてさうてさうてさうて
 千載秋下 さうてさうてさうてさうて
 後拾遺雜四 さうてさうてさうてさうて
 千載雜上 さうてさうてさうてさうて
 拾遺名四 さうてさうてさうてさうて
 古今拾名 さうてさうてさうてさうて
 後拾遺集 ねさむなるさうてさうて
 拾玉集八 さうてさうてさうてさうて
 後古名 ねさむなるさうてさうて

花院皇后之
 一條楊政
 多々良持世
 後醍醐院氏
 花山院氏
 今上御親
 人
 藤原氏
 尚侍
 平氏村
 佐藤氏
 藤原氏
 源氏直
 右大臣
 左大臣

花院皇后之
 一條楊政
 多々良持世
 後醍醐院氏
 花山院氏
 今上御親
 人
 藤原氏
 尚侍
 平氏村
 佐藤氏
 藤原氏
 源氏直
 右大臣
 左大臣

後古秋上 人よそまふいもあはれれり かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

山吹集下 立ちうて葉は輝けよささい かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

後拾冬 さらやういれはるれ葉もてい かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

拾遺愚著上 さるやういれはるれ葉もてい かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

拾遺雅下 わりかようつれもあはれれり かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

古今物語 かりたわゆる浪のまわらふま かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

後拾拾物名 家きたり風のまわらふま かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

拾玉集一 席さすここの山平のみつり かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

夜重不葉 あらたまをひひあはれはるれ かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

西葉冬 さらやういれはるれ葉もてい かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

同春下 かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

新拾冬三 くれよとせよけはるれ松川乃 かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

玉葉夏 大井川岩波をゆくうくれれ かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

月清集上 その川は出づ流れまらぬれよ かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

壬生二月上 大井川流れ風もよき流れよ かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

山吹集下 うれあはれいれあはるれぬい かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

新拾拾春下 年々そつとれはるれあはれ かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

後拾冬又 梅のそはれはるれあはれ かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

後古雅下 あらあはれぬ秋のあはれ風 かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

後撰雜別 かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

拾遺愚著上 松のそつとれあはれあはれ かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

拾遺真外上 秋のそつとれあはれあはれ かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

後古秋下 かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

拾玉集四 さるやういれはるれ葉もてい かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

拾玉集三 おあはれ梅のつらうすらあはれ かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

新千春上 善しとれ居るるなりあはれれ かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

後古霧孫 ひ里きとせよけはるれあはれ かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

新後古夏 郭公あはれそつとれあはれれ かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

壬生二月上 かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

後古志二 経をぬつとれあはれあはれれ かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

同雅下 かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

拾遺愚著又 かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

後古秋上 かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

拾玉集二 かつらうん秋れよ乃月 花原光俊抄

抄

正統後宗太

大納言綱光

和泉式部

俊彰御下

平秋時

皇太后及太皇太后

後成女

登道法師

後三位爲継

藤原門院

中院入左衛門

中務卿親王

後三條

花原光俊抄

花原光俊抄

后上太政大臣

小大夫

左大臣

玉葉雜三

ゆふ月すはのうらり玉輝

いあううりり月影

在系院社下

張古標急

人志れぬ心の原はまやうれ

いあううれまうり

皇太后宮太史 後成

張古急一

ちやうやう急うらうら花すま

いあうのうはまいつん

鎌倉公

同又

あうれの後芽はゆきまき

いあうあうかきま

紫式部

新古急又

花はゆぬ栞本れ松乃そ海人乃

いあうらねはまひいつん

在系仲文

若葉集

あうつあうをきねあうつ

いあうあうあう

在系覚因

張古急四

あうつあう月うらぬ面影

いあうらねはまいつん

在系覚因

張古雜上

今いそて海山とあうあう

いあうあうあう

在系覚因

張古雜二

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

拾遺雜春

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

新千雜下

乃うれてもあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

拾遺冬

いぬすよみぬもあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

新千尺教

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

千載集傷

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

新張古張

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

新勅急一

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

竹河

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

新千尺教

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

拾玉集四

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

張古冬

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

張古急一

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

拾遺和名

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

新古秋上

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

拾遺急涼

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

新勅雜二

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

拾玉集二

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

風雅急一

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

張古急四

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

新張古急

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

拾玉集又

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

同四

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

新千急三

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

拾玉集三

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

竹河

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

玉葉急三

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

山家集上

あうあうあうあうあうあう

いあうあうあうあう

在系覚因

類聚

十一

楨柱

孩古集傷 一志の種のを... 若あれ
 新後雅下 今取て候のい... 物と
 新古志一 み... 物と
 玉葉集 秋... 物と
 新後雅一 け... 物と
 後松遊雅 あり... 物と
 孩千集三 あ... 物と
 後撰春中 善... 物と
 玉賢叟 志... 物と
 孩古雅上 山... 物と
 桐壺 志... 物と
 孩後松雅 志... 物と
 同志二 志... 物と
 孩後撰最 志... 物と
 孩千集四 志... 物と
 新古志一 志... 物と

詞花 志... 物と
 孩古尺教 志... 物と
 拾遺別 志... 物と
 孩後松雅 志... 物と
 拾遺志一 志... 物と
 山家集上 志... 物と
 風雅志 志... 物と
 孩拾遺春上 志... 物と
 壬生二系上 志... 物と
 若菜系上 志... 物と
 新古雅上 志... 物と
 十載雅中 志... 物と
 新後松春下 志... 物と
 拾玉集只 志... 物と
 千載冬 志... 物と
 新十雅上 志... 物と
 孩千秋上 志... 物と
 孩後松神 志... 物と

天台座主隆光

香林傳教

大華大貳

上東門院

後二位隆隆

若菜宮

右近大納言

若菜宮

若菜宮

若菜宮

若菜宮

若菜宮

若菜宮

若菜宮

若菜宮

若菜宮

若菜宮

若菜宮

若菜宮

若菜宮

若菜宮

若菜宮

若菜宮

若菜宮

若菜宮

於玉集

金葉雜下

拾玉集又

於送別

後拾秋上

拾送冬

同雜下

新拾秋上

若此矣

後拾送秋上

千載冬

於送相公

後夜中

新秋上

同相名

新後古地名

金葉雜下

今夕はくもくしようつあひ草

わろ海乃鹿れしるしと相と

物あふふの秋はあふぬれし

まればらいつせりけりあき相を

遠坂乃雲の清きれなうせと

冬の他のうい歩よさらうれと

梓弓けううにむれりやまればれ

終夜萩の葉風乃たえせぬや

しりきあれあひし事しきうぬまふ

とく霜よとくむ枝よあつ相と

太山後ハカつちる香よ理もく

まもあふゆのわりのぬまのまゆ

いそけともゆきともや庭をぬく

八重葎さうとつらあふもきま

名うめくつねはゆたぬ毒じり

家神ハゆつてあてわくせとも

むとひきとつひけり相とじよひ松

高くれむ名ハうとつらあひ

つそり社もくはるるる

つそりそり月とぬく人

つそり社もくはるるる

つそりつひよとるるる

つそり月れ新とあはし

つそり月れ新とあはし

つそりつひよとるるる

つそりつひよとるるる

つそりつひよとるるる

つそりつひよとるるる

つそりつひよとるるる

つそりつひよとるるる

つそりつひよとるるる

つそりつひよとるるる

つそりつひよとるるる

つそりつひよとるるる

つそりつひよとるるる

勝起法師

源順

左京大夫藤原

右大臣藤原

中納言藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

藤原

於玉集二 河川入林さうあふまやあふ けしきよき母とまゝあねの
 士生二不上 池のやうなるあふまのつらきわら けしきよき母のあはれ
 後拾神紙 曇雲あまの里のけしきをわらふらん けしきよき母のあはれ
 後千名一 後拾神紙のあまのつらきわら けしきよき母のあはれ
 同々 後拾神紙のあまのつらきわら けしきよき母のあはれ
 新後古事 奥津路のあまのつらきわら けしきよき母のあはれ
 新於雅中 池のやうなるあふまのつらきわら けしきよき母のあはれ
 玉葉雜又 あふまのつらきわら けしきよき母のあはれ
 同尺教 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 後後撰多 君まのつらきわら けしきよき母のあはれ
 後拾神又 池のやうなるあふまのつらきわら けしきよき母のあはれ
 金葉雜下 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 後拾遺志二 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 新後古事三 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 松邊雅春 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 金葉又 あふまのつらきわら けしきよき母のあはれ
 新千雅上 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ

浄寛法師 三條入る大下
 藤原の御下 平政長
 大御言方 二條院護波
 左大臣 藤原
 皇后又配 侍勢大輔
 坂内保恩 志慶法師
 藤原孝子
 法隆寺 政大下

新後古事 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 新於拾遺志 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 金葉又 あふまのつらきわら けしきよき母のあはれ
 新後古事 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 風雅福 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 後拾遺志 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 千載春下 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 拾玉集 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 桐壺 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 後拾遺志三 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 後千名三 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 拾遺志 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 玉葉秋下 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 後拾遺志 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 玉葉雜又 あふまのつらきわら けしきよき母のあはれ
 新 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 後古事 けしきよき母のあはれ けしきよき母のあはれ
 金葉上 あふまのつらきわら けしきよき母のあはれ

小指伯正 藤原法師
 藤原師信 藤原師信
 藤原師信 藤原師信
 後拾遺志 花南在太下
 光朝法師 藤原師信
 藤原師信 藤原師信
 藤原師信 藤原師信
 藤原師信 藤原師信
 藤原師信 藤原師信
 藤原師信 藤原師信

松玉集二 行香人乃秋のあられこそ
 疎子雜上 みるくは若くともぬきぬき
 同花名下 あつきのほろよほろのいすま
 新葉雜上 世よもあつきのぬきぬき
 玉葉雜上 昔よりきまぬ川を今もぬき
 古今雜上 おひぬきぬきぬきぬきぬき
 伊勢雜上 おひぬきぬきぬきぬきぬき
 拾遺五葉 山つきのぬきぬきぬきぬき
 新葉雜下 ろめぬきぬきぬきぬきぬき
 新葉雜二 ろめぬきぬきぬきぬきぬき
 千載五葉 移りぬきぬきぬきぬきぬき
 後拾遺中 考りぬきぬきぬきぬきぬき
 山家集下 ろめぬきぬきぬきぬきぬき
 新葉雜下 ろめぬきぬきぬきぬきぬき
 後拾遺中 ろめぬきぬきぬきぬきぬき
 後撰念日 秋の四つうきぬきぬきぬきぬき
 後拾遺上 人志ぬきぬきぬきぬきぬき
 壬生三言中 移りぬきぬきぬきぬきぬき

後拾遺下 信んて月北のあつきのぬきぬき
 拾玉集下 みるくは若くともぬきぬき
 後拾遺中 今もぬきぬきぬきぬきぬき
 後拾遺上 ぬきぬきぬきぬきぬきぬき
 後拾遺下 ぬきぬきぬきぬきぬきぬき
 拾遺五葉 ぬきぬきぬきぬきぬきぬき
 新葉雜上 ぬきぬきぬきぬきぬきぬき
 同雜上 あつきのぬきぬきぬきぬきぬき
 後拾遺中 ぬきぬきぬきぬきぬきぬき
 新葉雜下 ぬきぬきぬきぬきぬきぬき
 拾遺五葉 ぬきぬきぬきぬきぬきぬき
 新葉雜上 ぬきぬきぬきぬきぬきぬき
 壬生三言下 ぬきぬきぬきぬきぬきぬき
 新葉雜上 ぬきぬきぬきぬきぬきぬき
 拾遺五葉 ぬきぬきぬきぬきぬきぬき
 風雅雜上 ぬきぬきぬきぬきぬきぬき
 山家集下 ぬきぬきぬきぬきぬきぬき
 拾玉集二 ぬきぬきぬきぬきぬきぬき

御花巻 古今雜上 新羅古雜 壬生二品中 松玉集七 山泉集上 松達會外上 後松達雜中 新古野松 同秋下 古今春上 全皇系春 新古志三 後松達會外上 後松達雜下 壬生二品上

まるく花巻のまゝはさきさき
 かむれいさくもさく月影乃
 仰みたまひぬらぬあきさら
 里も風そそぐ海の波門は
 こころぬれぬゆもまもも
 海ひらけぬてまじきまの
 山嶺よりちむい各あつたまは
 ぬさうしてあきの花みあ
 さひくさくあはるまのち
 松のぬをさく破乃ゆま
 今うら又いさかおもな
 山も人もほほあぬさく花
 かきうあつてちるまよなき
 君もつと圓もつくぬさく
 諸ゆて秋さうあさむさ
 めんれいさくもさく月影乃
 山もれいさくもさく月影乃
 花おもしろあつてさく月影乃

白河波山雲
 まのつとひさ
 持守御をさ
 後醍醐院御
 式部内親王
 松中御を世和
 もとく次
 松政大臣
 式部内親王
 情思の後醍醐
 太皇太后
 藤原門下
 藤倉七下
 後醍醐院御
 右を
 おたぬき氏
 源頼光御下
 右京左衛門
 二条法親王御
 お古御を後醍
 法中宮尊

後千載法 山崎集上 玉葉雜三 拾遺意若重 月清集上 拾玉集七 新羅古集上 後松達雜一 後松達六 壬生二品上 後松達三 後松達一 新古集七 新羅古集上 松達意若重 新羅古雜中 後松達雜上

かりぬいさくもさく月影乃
 あつていさくもさく月影乃
 花のぬいさくもさく月影乃
 あつていさくもさく月影乃
 ちむいさくもさく月影乃
 わのまも人のいさくもさく月影乃
 山里れいさくもさく月影乃
 山のぬいさくもさく月影乃
 さく月影乃
 海ひらけぬてまじきまの
 山嶺よりちむい各あつたまは
 ぬさうしてあきの花みあ
 さひくさくあはるまのち
 松のぬをさく破乃ゆま
 今うら又いさかおもな
 山も人もほほあぬさく花
 かきうあつてちるまよなき
 君もつと圓もつくぬさく
 諸ゆて秋さうあさむさ
 めんれいさくもさく月影乃
 山もれいさくもさく月影乃
 花おもしろあつてさく月影乃

藤倉七下
 後醍醐院御
 右を
 おたぬき氏
 源頼光御下
 右京左衛門
 二条法親王御
 お古御を後醍
 法中宮尊

十二
 十二

後千雅下

新玉集一

うらたれあを

後三位行純

風雅雜下

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

新古雅上

秋をる月を

うらたれあを

大信正長相

拾玉集六

いほふあふの月も

うらたれあを

大信正長相

新千雅中

修心のりも

うらたれあを

大信正長相

同下

秋のつらみ

うらたれあを

大信正長相

後古雅下

かきあふら

うらたれあを

大信正長相

後拾雅下

あふら

うらたれあを

大信正長相

拾玉集四

めふあふら

うらたれあを

大信正長相

新後拾雅三

うそあふら

うらたれあを

大信正長相

新千冬

老のさう

うらたれあを

大信正長相

後拾遺秋下

いほあふら

うらたれあを

大信正長相

外幸

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

新拾遺

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

新後拾雅春

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

土生二

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

新拾遺

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

新葉冬

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

拾玉集一

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

後撰三

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

古今雜上

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

後千雅上

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

千載羅襪

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

拾玉集三

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

拾遺夏

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

新後拾雅

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

後古雅

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

新後拾雅

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

後千冬

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

新後拾雅

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

同

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

拾玉集七

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

同二

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

後古雅

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

新後拾雅春

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

土生二

うらたれあを

うらたれあを

大信正長相

新拾遺 けいひりてんくもあは山里
 拾遺書 つけやんまほもちうあゆ花
 壬生二下 後芽茶とれちあひちまに
 新古雜 忘ちん世あははほけりなま
 後撰 忘ちん世あははほけりなま
 拾玉集六 しつりあまのくちくち
 後千雜 善柳けいりちあひちまに
 拾玉集四 われ山つりゆ月れはよ
 後拾遺 忘ちん世あははほけりなま
 新拾遺 忘ちん世あははほけりなま
 壬生二上 忘ちん世あははほけりなま
 後拾遺 忘ちん世あははほけりなま
 風雅 忘ちん世あははほけりなま
 後拾遺 忘ちん世あははほけりなま
 拾遺 忘ちん世あははほけりなま
 松遊 忘ちん世あははほけりなま

中務卿 菅原
 右大臣 藤原
 左大臣 藤原
 中納言 藤原
 少納言 藤原
 大納言 藤原
 左近衛 藤原
 右近衛 藤原
 左衛門 藤原
 右衛門 藤原
 少衛門 藤原
 大衛門 藤原

壬生二下 善山松乃栂よつり日乃
 風雅冬 みづけ山より雪の降るれ
 新勅 忘ちん世あははほけりなま
 後拾遺 忘ちん世あははほけりなま
 新古 忘ちん世あははほけりなま
 古今 忘ちん世あははほけりなま
 後拾遺 忘ちん世あははほけりなま
 拾遺 忘ちん世あははほけりなま
 松遊 忘ちん世あははほけりなま

中務卿 菅原
 右大臣 藤原
 左大臣 藤原
 中納言 藤原
 少納言 藤原
 大納言 藤原
 左近衛 藤原
 右近衛 藤原
 左衛門 藤原
 右衛門 藤原
 少衛門 藤原
 大衛門 藤原

後拾遺集

歳々昔は昔の草もよもあひて

つらな御んちかこころん

西行法師

後拾遺集

あひまをのちゆかぬちあか

つらな御んちかこころん

能因法師

山家集下

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

拾玉集一

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

金葉集

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

後拾遺集上

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

拾遺集

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

後拾遺集一

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

風雅冬

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

詞苑秋

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

風雅雅中

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

月清集下

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

長秋詠集

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

新拾遺集

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

新古賀

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

金葉集上

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

壬生二不上

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

後古賀

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

於玉集四

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

同三

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

壬生二不上

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

後千賀

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

風雅雅下

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

壬生二不中

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

新拾遺集

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

風雅雅下

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

後古賀上

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

後千賀

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

風雅雅下

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

後撰羅羅

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

拾玉集六

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

壬生二不上

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

後送負集

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

同上

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

後撰羅羅

あつこくちあつこくちあつこく

つらな御んちかこころん

有原元隆

類白

十一

風雅居 侍うねてあけくとしきよはか人よ
 於遠哀傷 おひききるもあけくは中を
 後於送雅三 思ひきりてあけくは世の中を
 風雅秋中 秋とては後きりてあけくは
 後于雅下 思ひきりてあけくは世の中を
 同 思ひきりてあけくは世の中を
 山家集上 思ひきりてあけくは世の中を
 山家集下 思ひきりてあけくは世の中を
 於玉集一 思ひきりてあけくは世の中を
 後于雅二 思ひきりてあけくは世の中を
 後于雅中 思ひきりてあけくは世の中を
 後于雅三 思ひきりてあけくは世の中を
 玉葉集二 思ひきりてあけくは世の中を
 於玉集下 思ひきりてあけくは世の中を
 山家集下 思ひきりてあけくは世の中を
 後于雅中 思ひきりてあけくは世の中を
 後于雅下 思ひきりてあけくは世の中を
 後于雅三 思ひきりてあけくは世の中を

後于友 ありきりてあけくは世の中を
 於玉集一 ありきりてあけくは世の中を
 後于雅二 ありきりてあけくは世の中を
 後于雅中 ありきりてあけくは世の中を
 後于雅三 ありきりてあけくは世の中を
 玉葉集二 ありきりてあけくは世の中を
 於玉集下 ありきりてあけくは世の中を
 山家集下 ありきりてあけくは世の中を
 後于雅中 ありきりてあけくは世の中を
 後于雅下 ありきりてあけくは世の中を
 後于雅三 ありきりてあけくは世の中を
 月清集上 ありきりてあけくは世の中を
 於玉集一 ありきりてあけくは世の中を
 於玉集二 ありきりてあけくは世の中を
 於玉集三 ありきりてあけくは世の中を
 月清集上 ありきりてあけくは世の中を
 後于雅下 ありきりてあけくは世の中を

皇太后及大夫 後成
 大僧正行号
 平氏村
 源後雅下
 前田白左下
 八條院を倉

後撰卷三	あるはつりもあつぬわの	つらつらん何とぞはせの	小野好吉
新撰古三	物といつねれをまじしひも	つらつまよがり坂の風	皇秋院母后
新古名揚	しりしり今いれ支那のあつた	つらつさくまのさつさき	上東門院
松達集揚	さつさくあつたつらつさき	つらつさつさつさつさき	中務
後撰卷三	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
古今雅下	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
後撰卷三	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
何花別	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
同	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
新勅雅一	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
月清集下	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
古今秋下	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
何花雅下	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
於玉集一	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
後撰撰雅	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
西粟呂表	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
新撰雅上	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
楨柱	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼

後撰卷三	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
拾遺集	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
新撰春上	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
新撰卷二	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
松玉集六	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
後撰撰三	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
新撰卷一	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
新撰古三	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
平生三不	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
長秋詠集	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
拾玉集三	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
新撰雅四	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
後撰卷四	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
新撰巻五	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
新撰巻六	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
後撰	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼
後撰雅上	あつたつらつさつさき	つらつさつさつさつさき	宗岳大頼

古今冬	雪あけの事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	秋もなり
秋後松冬	いづれをいかにぞおもはは	いづれをいかにぞおもはは	後人
玉葉草下	常あけの事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	徳田親王
古今春梅	水の浦にさかたなる梅の花	いづれをいかにぞおもはは	躬姫
伊勢物語	花の浦にさかたなる梅の花	いづれをいかにぞおもはは	きののちひさ
拾遺秋	女帝の花あけの野合の事	いづれをいかにぞおもはは	あまのこ
後拾遺冬	雪の野にさかたなる梅の花	いづれをいかにぞおもはは	大徳寺通徳母
明名	明ぬの事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	
風雅雜下	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	あまのこ
古今雜別	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	あまのこ
風雅冬三	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	伏見院親善
新後古雜上	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	あまのこ
後撰冬	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	伊勢
新古雜中	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	あまのこ
後撰冬	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	あまのこ
同友	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	あまのこ
同雜下	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	あまのこ
拾遺冬	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	徳田親王
後拾遺冬	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	仲文
新古雜一	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下
拾遺冬	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下
後拾遺冬	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下
風雅秋下	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下
於送冬	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下
新古雜上	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下
風雅雜下	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下

同友	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下
同雜下	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下
拾遺冬	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下
後拾遺冬	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下
新古雜一	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下
拾遺冬	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下
後拾遺冬	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下
風雅秋下	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下
於送冬	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下
新古雜上	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下
風雅雜下	あつて雪の事と花を咲かす	いづれをいかにぞおもはは	源有長下

新古今冬 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信
 拾玉集三 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 殿宮の侍
 新古今冬下 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大守大貳長賢
 金葉集 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 源為朝
 後拾遺雜四 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 花の原の侍
 千載集 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 源為朝
 新古今春 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 源為朝
 新古今秋上 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 源為朝
 同雜下 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 源為朝
 花 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 源為朝
 玉葉集一 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 源為朝
 後撰集三 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 源為朝
 新古今春 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 源為朝
 後撰秋下 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 源為朝
 同冬 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 源為朝
 新古今一 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 源為朝
 新古今上 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 源為朝
 後撰集 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 源為朝

新古今冬 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信
 夕顔 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信
 拾遺集上 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信
 後撰雜四 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信
 後古今冬 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信
 松尾 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信
 拾遺集外上 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信
 拾遺集 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信
 後撰集 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信
 後古今三 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信
 後撰集 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信
 新古今紙 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信
 玉葉集 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信
 後古今上 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信
 新古今上 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信
 新古今下 花の原の葉あはれぬ大井川 しのめせよ水のあはれぬ 大納言経信

拾玉集 拾玉集 拾玉集 拾玉集 拾玉集
... (transcription of the handwritten text on the right page) ...

拾玉集 拾玉集 拾玉集 拾玉集 拾玉集
... (transcription of the handwritten text on the left page) ...

頭切

拾玉集六 いろよむを思ふふよふあり世に
 及拾遺集傷 立の思ふふよふあり世に
 山家集下 湖の思ふふよふあり世に
 後拾遺集三 志の思ふふよふあり世に
 拾玉集一 世の思ふふよふあり世に
 後古名傷 世の思ふふよふあり世に
 新千雜下 世の思ふふよふあり世に
 新千雜中 世の思ふふよふあり世に
 古今名一 世の思ふふよふあり世に
 千載雜上 世の思ふふよふあり世に
 玉葉名三 世の思ふふよふあり世に
 新拾遺中 世の思ふふよふあり世に
 後拾遺集 世の思ふふよふあり世に
 新千名三 世の思ふふよふあり世に
 詞花雜下 世の思ふふよふあり世に
 拾遺集上 世の思ふふよふあり世に
 後古名傷 世の思ふふよふあり世に
 後千春下 世の思ふふよふあり世に

新千秋下 ちかしの思ふふよふあり世に
 玉葉名三 秋の思ふふよふあり世に
 同雜一 秋の思ふふよふあり世に
 千載名一 秋の思ふふよふあり世に
 新拾遺中 秋の思ふふよふあり世に
 新拾遺下 秋の思ふふよふあり世に
 新拾遺上 秋の思ふふよふあり世に
 新拾遺三 秋の思ふふよふあり世に
 頃磨 秋の思ふふよふあり世に
 新千秋上 秋の思ふふよふあり世に
 千載名三 秋の思ふふよふあり世に

百一

百二

後西園入
 大政大
 桐平院
 源俊朝
 源孝朝
 常盤井入
 大政大
 後千春下
 源師光
 若菜光
 松葉俊家
 式部卿
 後千春下
 前大納言
 前大納言
 前大納言
 前大納言

新秋上

新秋上

新秋上 露まぬと見ゆもあはれ秋の夜は
 新葉友 花のみしゆりも玉の露の
 山家集上 まるくはあはれ秋の夜は
 拾玉集上 うるもつたはるる玉の露の
 新葉友 丸くはあはれ秋の夜は
 拾玉集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新古集下 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新千集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 風雅集一 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 拾玉集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新千集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 風雅春上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新葉春 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新古集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 山家集下 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新古集下 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新千集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は

拾玉集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 金葉友 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新古集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 拾玉集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新葉集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 壬生二上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新古集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 風雅集下 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新古集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 同秋中 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 風雅集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新千集下 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 風雅集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 拾玉集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は

新秋上

新秋上

拾玉集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 金葉友 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新古集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 拾玉集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新葉集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 壬生二上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新古集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 風雅集下 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新古集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 同秋中 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 風雅集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 新千集下 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 風雅集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は
 拾玉集上 花乃をよむもあはれ秋の夜は

七七本相如

後以秋葉 吹風のよきものありけり
 山吹集下 光るはらの月をみよけり
 新古今秋下 わきそけりなるの袖のあはれ
 玉葉秋下 ほよつと伏見の山をみよけり
 風雅秋下 香るるの酒のまよひのあはれ
 新後古今秋 ぬき雅西の酒をみよけり
 新後秋下 尺のまよひの酒をみよけり
 月清集下 山吹の下をみよけり
 拾玉集六 藤乃まよひの酒をみよけり
 千載秋下 ぬきうの酒をみよけり
 後千秋上 ぬきむちの酒をみよけり
 新葉秋下 白露のたけの酒をみよけり
 新古今秋下 藤乃まよひの酒をみよけり
 拾玉集六 山吹の酒をみよけり
 古今秋上 けりそよの酒をみよけり
 玉葉秋上 香るるの酒の酒をみよけり
 風雅秋上 小山の酒をみよけり
 拾玉集六 香るるの酒の酒をみよけり

山吹集下 前合僧堂
 新古今秋下 冷泉明大政
 風雅秋下 院正奇
 新後古今秋 源頼朝
 新後秋下 後醍醐天皇
 月清集下 山吹集下
 拾玉集六 藤乃集下
 千載秋下 山吹集下
 後千秋上 山吹集下
 新葉秋下 山吹集下
 新古今秋下 山吹集下
 拾玉集六 山吹集下
 古今秋上 山吹集下
 玉葉秋上 山吹集下
 風雅秋上 山吹集下
 拾玉集六 山吹集下

新古今秋上 わきそけりなるの袖のあはれ
 新古今秋下 ぬきむちの酒をみよけり
 新後古今秋 ぬき雅西の酒をみよけり
 古今秋二 ぬきうの酒をみよけり
 古今秋下 ぬきむちの酒をみよけり
 壬生二上 ぬきうの酒をみよけり
 拾玉集六 ぬきうの酒をみよけり
 新後古今秋二 ぬきうの酒をみよけり
 新後秋上 ぬきうの酒をみよけり
 後拾玉集 ぬきうの酒をみよけり
 月清集上 ぬきうの酒をみよけり
 同下 ぬきうの酒をみよけり
 新古今秋上 ぬきうの酒をみよけり
 新古今秋下 ぬきうの酒をみよけり
 後千載秋 ぬきうの酒をみよけり
 壬三上 ぬきうの酒をみよけり

山吹集下 前合僧堂
 新古今秋下 冷泉明大政
 風雅秋下 院正奇
 新後古今秋 源頼朝
 新後秋下 後醍醐天皇
 月清集下 山吹集下
 拾玉集六 藤乃集下
 千載秋下 山吹集下
 後千秋上 山吹集下
 新葉秋下 山吹集下
 新古今秋下 山吹集下
 拾玉集六 山吹集下
 古今秋上 山吹集下
 玉葉秋上 山吹集下
 風雅秋上 山吹集下
 拾玉集六 山吹集下

古下集下
 拾遺別 なるか下 赤いせしめきり
 月情集上 時よ少きうり 田まよる 穂の真
 古今秋下 しくも 赤いなる 霜のふね
 同 離 山 山 山 山 山
 後千巻三 秋 秋 秋 秋 秋
 風雅集六 若 若 若 若 若
 山家集上 山 山 山 山 山
 松王集三 松 松 松 松 松
 松王集七 松 松 松 松 松
 後千巻九 後 後 後 後 後
 同 同 同 同 同
 新葉集三 新 新 新 新 新
 後千巻二 後 後 後 後 後
 風雅集四 風 風 風 風 風
 新葉集三 新 新 新 新 新
 壬生三卷上 壬 壬 壬 壬 壬
 後千巻中 後 後 後 後 後
 山家集下 山 山 山 山 山

拾玉集一 松の世はあつたあつたあつた
 後拾雅中 松の世はあつたあつたあつた
 玉葉集一 松の世はあつたあつたあつた
 松王集七 松の世はあつたあつたあつた
 後千巻九 松の世はあつたあつたあつた
 同 同 同 同 同
 新葉集三 松の世はあつたあつたあつた
 後千巻二 松の世はあつたあつたあつた
 風雅集四 松の世はあつたあつたあつた
 新葉集三 松の世はあつたあつたあつた
 壬生三卷上 松の世はあつたあつたあつた
 後千巻中 松の世はあつたあつたあつた
 山家集下 松の世はあつたあつたあつた

拾遺集
 松玉集四
 新後冬
 新後夏
 松玉集五
 同
 松玉集六
 松玉集七
 松玉集八
 松玉集九
 松玉集十
 松玉集十一
 松玉集十二
 松玉集十三
 松玉集十四
 松玉集十五
 松玉集十六
 松玉集十七
 松玉集十八
 松玉集十九
 松玉集二十

松玉集
 松玉集二
 松玉集三
 松玉集四
 松玉集五
 松玉集六
 松玉集七
 松玉集八
 松玉集九
 松玉集十
 松玉集十一
 松玉集十二
 松玉集十三
 松玉集十四
 松玉集十五
 松玉集十六
 松玉集十七
 松玉集十八
 松玉集十九
 松玉集二十

類例

類例

道歌

類例

類例

道歌

公座主明使

後拾遺雅三 中世のよきものなり

つとむる月を

山歌集下 竹のよもきさやうもめめ

つとむる月を

月清集上 月清集上 月清集上

つとむる月を

壬生二系上 壬生二系上 壬生二系上

つとむる月を

風雅秋上 風雅秋上 風雅秋上

つとむる月を

新後秋二 新後秋二 新後秋二

つとむる月を

新千律紙 新千律紙 新千律紙

つとむる月を

後後撰雅 後後撰雅 後後撰雅

つとむる月を

新後古雅 新後古雅 新後古雅

つとむる月を

松達五葉下 松達五葉下 松達五葉下

つとむる月を

壬生二系上 壬生二系上 壬生二系上

つとむる月を

新古秋上 新古秋上 新古秋上

つとむる月を

風雅五 風雅五 風雅五

つとむる月を

壬生二系上 壬生二系上 壬生二系上

つとむる月を

後拾遺雅 後拾遺雅 後拾遺雅

つとむる月を

友今雅上 友今雅上 友今雅上

つとむる月を

後後撰雅 後後撰雅 後後撰雅

つとむる月を

後拾遺雅 後拾遺雅 後拾遺雅

つとむる月を

壬生二系下 壬生二系下 壬生二系下

つとむる月を

月清集上 月清集上 月清集上

つとむる月を

新初雅上 新初雅上 新初雅上

つとむる月を

新後秋上 新後秋上 新後秋上

つとむる月を

松達五葉上 松達五葉上 松達五葉上

つとむる月を

新初秋下 新初秋下 新初秋下

つとむる月を

新後秋上 新後秋上 新後秋上

つとむる月を

金葉文 金葉文 金葉文

つとむる月を

松達五葉上 松達五葉上 松達五葉上

つとむる月を

同中 同中 同中

つとむる月を

新初雅上 新初雅上 新初雅上

つとむる月を

新後秋下 新後秋下 新後秋下

つとむる月を

松達秋 松達秋 松達秋

つとむる月を

同冬 同冬 同冬

つとむる月を

金葉冬 金葉冬 金葉冬

つとむる月を

新葉冬 新葉冬 新葉冬

つとむる月を

月清集 月清集 月清集

つとむる月を

平時付

壬生二系上

壬生二系下

新初雅上

新後秋上

松達五葉上

同中

新初雅上

新後秋下

松達秋

新撰

三十二

松道吉集 喜のふれは... 俊徳の家

松道吉集上 赤心が... 俊徳の家

松道吉集下 山志... 俊徳の家

松道吉集 奥山... 俊徳の家

松道吉集 山志... 俊徳の家

松道吉集 舟人... 俊徳の家

松道吉集 秋風... 俊徳の家

松道吉集 秋風... 俊徳の家

松道吉集 秋風... 俊徳の家

松道吉集 秋風... 俊徳の家

松道吉集 秋風... 俊徳の家

松道吉集 秋風... 俊徳の家

松道吉集 秋風... 俊徳の家

松道吉集 秋風... 俊徳の家

松道吉集 秋風... 俊徳の家

新撰

三十二

松道吉集 喜のふれは... 俊徳の家

松道吉集上 赤心が... 俊徳の家

松道吉集下 山志... 俊徳の家

松道吉集 奥山... 俊徳の家

松道吉集 山志... 俊徳の家

松道吉集 舟人... 俊徳の家

松道吉集 秋風... 俊徳の家

松道吉集 秋風... 俊徳の家

松道吉集 秋風... 俊徳の家

松道吉集 秋風... 俊徳の家

松道吉集 秋風... 俊徳の家

松道吉集 秋風... 俊徳の家

類目

三十一

新抄冬 船なりけりるる 夫いひよりのきき 八重ききす下
 孫千名四 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 華平初原
 新抄雜上 梅さめそゆの結まは梅よ くのふらとむきぬらん 花介後原
 新抄雜下 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 宗賢法師
 古今物名 花さめそゆの結まは梅よ くのふらとむきぬらん ともへし原
 後抄遺上 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 花介道徳
 後抄遺下 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 花介有時
 同日 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん ともへし原
 風雅秋中 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 花介道徳
 孫千秋上 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 宗賢法師
 於遠賀 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん ともへし原
 山歌集上 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 花介道徳
 於遠雜上 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 宗賢法師
 於遠自外上 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん ともへし原
 於玉集二 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 花介道徳
 金葉集下 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 宗賢法師
 於玉集六 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん ともへし原

於玉集四 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 宗賢法師
 同日 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん ともへし原
 五葉雜三 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 花介道徳
 同日 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 宗賢法師
 月清集下 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん ともへし原
 孫後抄冬 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 花介道徳
 新抄雜上 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 宗賢法師
 於玉集一 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん ともへし原
 新抄秋下 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 花介道徳
 於遠遺上 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 宗賢法師
 新抄遺下 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん ともへし原
 孫古器説 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 花介道徳
 後抄遺上 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 宗賢法師
 中巻集上 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん ともへし原
 壬生二平中 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 花介道徳
 孫古齊上 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん 宗賢法師
 風雅春中 舟のりてはてのうらすさ くのふらとむきぬらん ともへし原

類目

三十一

宗賢法師 花介道徳 ともへし原 花介道徳 宗賢法師 ともへし原
 花介道徳 宗賢法師 ともへし原 花介道徳 宗賢法師 ともへし原
 ともへし原 花介道徳 宗賢法師 ともへし原 花介道徳 宗賢法師
 宗賢法師 ともへし原 花介道徳 宗賢法師 ともへし原 花介道徳

巻五

於遠目外下 夕月お花よりそめりてあはれ
 残於巻三 今もひととほめりて人れいつりて
 新葉集上 乃びお花れりてあはれといふ
 新葉集下 みやまのうらなほやまのつばきほ
 詞花文 種もあはれりてあはれといふ
 新葉集下 みやまのうらなほやまのつばきほ
 後十秋上 織女のうらなほやまのつばきほ
 新古秋上 七なれりてあはれといふ
 詞花秋 みやまのうらなほやまのつばきほ
 壬生三平上 後まけりてあはれといふ
 月清集下 夕月お花よりそめりてあはれ
 於遠目外下 夕月お花よりそめりてあはれ
 山家集上 ねさめりてあはれといふ
 長秋集上 夕月お花よりそめりてあはれ
 詞花秋 乃びお花れりてあはれといふ
 後十秋上 乃びお花れりてあはれといふ
 風雅秋下 夕月お花よりそめりてあはれ
 新葉集下 夕月お花よりそめりてあはれ

壬生三平上 秋はあはれりてあはれといふ
 新葉集上 乃びお花れりてあはれといふ
 於遠目外下 夕月お花よりそめりてあはれ
 山家集上 ねさめりてあはれといふ
 長秋集上 夕月お花よりそめりてあはれ
 詞花秋 乃びお花れりてあはれといふ
 後十秋上 乃びお花れりてあはれといふ
 風雅秋下 夕月お花よりそめりてあはれ
 新葉集下 夕月お花よりそめりてあはれ

巻六

新葉集下

後十秋上

新古今集

拾玉集

新古今集

五葉集

新古今集

大和物語

風雅集

新古今集

新古今集

新古今集

新古今集

新古今集

新古今集

新古今集

秋の形は花のしるし鳴春

法乃花のりつと人のさきく

ゆつりゆつりのおどろけし

関をたたくる程は時を

軍もあつておどろけひる

しひしひ余余はむとを

おどろけのすめりやも

はらけはらけあつて

ゆつりゆつりのおどろけ

あつてあつてあつて

ゆつりゆつりのあつて

ゆつりゆつりのあつて

ゆつりゆつりのあつて

ゆつりゆつりのあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

秋の形は花のしるし鳴春

法乃花のりつと人のさきく

ゆつりゆつりのおどろけし

関をたたくる程は時を

軍もあつておどろけひる

しひしひ余余はむとを

おどろけのすめりやも

はらけはらけあつて

ゆつりゆつりのおどろけ

あつてあつてあつて

ゆつりゆつりのあつて

ゆつりゆつりのあつて

ゆつりゆつりのあつて

ゆつりゆつりのあつて

拾遺集

新古今集

新古今集

新古今集

新古今集

新古今集

新古今集

新古今集

新古今集

新古今集

新古今集

新古今集

新古今集

新古今集

ちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのち

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

頼朝

六十一

秋の形は花のしるし鳴春

法乃花のりつと人のさきく

新古今集

拾玉集

新古今集

五葉集

秋の形は花のしるし鳴春

法乃花のりつと人のさきく

ゆつりゆつりのおどろけし

関をたたくる程は時を

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

いまはあつてあつてあつて

秋の形は花のしるし鳴春

法乃花のりつと人のさきく

ゆつりゆつりのおどろけし

関をたたくる程は時を

壬生二下 心つゝ花のよみみそも
 新抄秋下 春月はあけぬりいひのうて
 新抄雜三 春月はあけぬりいひのうて
 後古雜中 春月はあけぬりいひのうて
 於遺意上 春月はあけぬりいひのうて
 後千雜上 春月はあけぬりいひのうて
 新抄雜上 春月はあけぬりいひのうて
 同多心 春月はあけぬりいひのうて
 新抄雜春 春月はあけぬりいひのうて
 古今急五 春月はあけぬりいひのうて
 後千秋上 春月はあけぬりいひのうて
 後抄雜春 春月はあけぬりいひのうて
 風雅雜上 春月はあけぬりいひのうて
 新抄雜上 春月はあけぬりいひのうて
 於玉集六 春月はあけぬりいひのうて
 壬生二下 春月はあけぬりいひのうて
 新抄雜三 春月はあけぬりいひのうて
 玉葉雜又 春月はあけぬりいひのうて

後抄拾遺 春月はあけぬりいひのうて
 新古雜下 春月はあけぬりいひのうて
 新抄雜上 春月はあけぬりいひのうて
 於玉集四 春月はあけぬりいひのうて
 新抄雜二 春月はあけぬりいひのうて
 後抄遺意 春月はあけぬりいひのうて
 新古雜上 春月はあけぬりいひのうて
 金葉急上 春月はあけぬりいひのうて
 新千急一 春月はあけぬりいひのうて
 新抄雜一 春月はあけぬりいひのうて
 後撰急二 春月はあけぬりいひのうて
 大和物語 春月はあけぬりいひのうて
 後撰急二 春月はあけぬりいひのうて
 新抄急二 春月はあけぬりいひのうて
 新抄急下 春月はあけぬりいひのうて
 於遺急二 春月はあけぬりいひのうて
 後抄急二 春月はあけぬりいひのうて

松玉集五

思ひつるやなほ

いさかしのあふらん

後人不知

後松三

中くは面ひき

いさかしのあふらん

後松三

新松三

形をそへて

いさかしのあふらん

後松三

松玉集六

形をそへて

いさかしのあふらん

後松三

新告雅上

世中のあはれ

いさかしのあふらん

後松三

壬生三下

吹くまじる

いさかしのあふらん

後松三

金葉秋

世中と秋と

いさかしのあふらん

後松三

新葉冬

あはれ秋の

いさかしのあふらん

後松三

新松三

けりしを

いさかしのあふらん

後松三

月清集下

六月の

いさかしのあふらん

後松三

松玉集二

名をひき

いさかしのあふらん

後松三

月清集上

みかんの

いさかしのあふらん

後松三

後古言

郭云忍び

いさかしのあふらん

後松三

玉葉冬

あはれ秋の

いさかしのあふらん

後松三

新古言三

あはれ秋の

いさかしのあふらん

後松三

新松三

あはれ秋の

いさかしのあふらん

後松三

新松三

あはれ秋の

いさかしのあふらん

後松三

壬生三下

屋の西よ

今い線乃

中松三

新葉秋

流るる

今い線乃

中松三

新松三

あはれ秋の

今い線乃

中松三

大和物語

あはれ秋の

今い線乃

中松三

壬生三下

あはれ秋の

今い線乃

中松三

金葉秋

あはれ秋の

今い線乃

中松三

壬生三下

あはれ秋の

今い線乃

中松三

後松三

あはれ秋の

今い線乃

中松三

松玉集上

あはれ秋の

今い線乃

中松三

松玉集上

あはれ秋の

今い線乃

中松三

松玉集上

あはれ秋の

今い線乃

中松三

松玉集上

あはれ秋の

今い線乃

中松三

松玉集上

あはれ秋の

今い線乃

中松三

松玉集上

あはれ秋の

今い線乃

中松三

松玉集上

あはれ秋の

今い線乃

中松三

松玉集上

あはれ秋の

今い線乃

中松三

松玉集上

あはれ秋の

今い線乃

中松三

松玉集上

あはれ秋の

今い線乃

中松三

類例

七十一

後松松冬 今口下... 前大徳長世
新松松冬 今口下... 志満は松松
松送賀 今口下... 入道長官大政
松古松三 今口下... 大貳三枝
松遺松華 今口下... 茶園白草
松松松心 今口下... 後伏見院
風雅雜下 今口下... 今口下...
松葉冬 今口下... 今口下...
後千松三 今口下... 今口下...
松葉冬三 今口下... 今口下...
松松賀 今口下... 今口下...
松千松三 今口下... 今口下...
松松松三 今口下... 今口下...
松葉冬一 今口下... 今口下...

新松松冬 今口下... 今口下...
新葉松下 今口下... 今口下...
新松松冬 今口下... 今口下...
玉葉雜四 今口下... 今口下...
新葉雜上 今口下... 今口下...
新松松三 今口下... 今口下...
壬生二上 今口下... 今口下...
後松送秋上 今口下... 今口下...
風雅又 今口下... 今口下...
新松松春 今口下... 今口下...
松玉集六 今口下... 今口下...
新松松下 今口下... 今口下...
風雅雜下 今口下... 今口下...
古今秋上 今口下... 今口下...
後古冬 今口下... 今口下...
松送雜春 今口下... 今口下...
古今物名 今口下... 今口下...

頌

頌

於遠冬	於人わてまつらぬほつちの	今もあまのついでに	古大徳道徳
後撰冬	人ともすすめあつたすまはれ	今そこのより錦なり	枇杷方大信
新勅雜三	らるる山みらるるさきり月影	今そこのよりのついでに	後中細道徳
玉葉尺五	ちりくさひもくほのついでに	今そこのよりのついでに	今右大臣政大信
後古賀	文相さうきたらうさる代は	今そこのよりのついでに	徳会右大臣
新古神祇	補地彦彦彦彦彦彦彦彦彦彦	今そこのよりのついでに	彦彦彦彦彦彦彦彦彦彦
新後秋上	志志をききききききききききき	今そこのよりのついでに	彦彦彦彦彦彦彦彦彦彦
若菜上	ひりひりひりひりひりひりひりひり	今そこのよりのついでに	彦彦彦彦彦彦彦彦彦彦
後撰秋下	つらひもくさきさきさきさきさき	今そこのよりのついでに	彦彦彦彦彦彦彦彦彦彦
後百雜中	世のついでにひりひりひりひりひり	今そこのよりのついでに	彦彦彦彦彦彦彦彦彦彦
新後雜下	ひりひりひりひりひりひりひりひり	今そこのよりのついでに	彦彦彦彦彦彦彦彦彦彦
新後古三	かきかきかきかきかきかきかき	今そこのよりのついでに	彦彦彦彦彦彦彦彦彦彦
後千巻三	後かきかきかきかきかきかきかき	今そこのよりのついでに	彦彦彦彦彦彦彦彦彦彦
新葉雜下	めまきわらわらわらわらわらわら	今そこのよりのついでに	彦彦彦彦彦彦彦彦彦彦
後衣三	のりあつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	彦彦彦彦彦彦彦彦彦彦
拾玉集四	らるるらるるらるるらるるらるる	今そこのよりのついでに	彦彦彦彦彦彦彦彦彦彦
於遠冬	かきかきかきかきかきかきかき	今そこのよりのついでに	彦彦彦彦彦彦彦彦彦彦

後撰冬	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	慶尋
於遠雜秋	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	康賢
後撰冬三	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	康賢
後撰春上	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	康賢
新千巻下	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	康賢
新古秋下	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	康賢
新古雜下	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	康賢
新於秋上	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	康賢
於遠冬	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	康賢
新後春下	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	康賢
新千巻下	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	康賢
於遠秋	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	康賢
新於冬	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	康賢
後千巻二	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	康賢
於遠冬	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	康賢
後古長湯	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	康賢
於玉集四	あつたあつたあつたあつたあつた	今そこのよりのついでに	康賢

玉葉雜五	うけつて花をさつりてさきさき	いよて世あららるるあかり	若政上人
松遠集一	人志れぬまゝにけしうを思はせ	いよて世あつらひのわが	西宮あき春
新松遠集三	思ふにぬれぬあまの付りも	いよてつとまのわが	りう人志ら
新松遠集三	思ふにぬれぬあまの付りも	いよてつとまのわが	後三位若政
新千冬	いよてつとまのわが	いよてつとまのわが	太宰赤見重家
新古志八	いよてつとまのわが	いよてつとまのわが	源宗氏
大和抱流	いよてつとまのわが	いよてつとまのわが	りう人志ら
月清集十	いよてつとまのわが	いよてつとまのわが	
坂撰巻一	いよてつとまのわが	いよてつとまのわが	
新千雜上	いよてつとまのわが	いよてつとまのわが	若菜泰宗
新松遠集	いよてつとまのわが	いよてつとまのわが	若菜基隆
拾玉集七	いよてつとまのわが	いよてつとまのわが	上西門院隆生
千載多三	いよてつとまのわが	いよてつとまのわが	上西門院隆生
新松遠集	いよてつとまのわが	いよてつとまのわが	内大臣
新松遠集上	いよてつとまのわが	いよてつとまのわが	赤園白太夫官
新千雜中	いよてつとまのわが	いよてつとまのわが	若菜若朝
風雅集	いよてつとまのわが	いよてつとまのわが	

長秋詠藻	世に成るるはさきさき	と指中をさきとさきさき	公衡中物
松遠集下	うけつて花をさつりてさきさき	とさきの風をさきさき	
風雅春上	雪乃さきさきさきさき	とさきの風をさきさき	中納言若持
新松遠春下	うけつて花をさつりてさきさき	とさきの風をさきさき	若菜長能
新松遠古五	いよてつとまのわが	とさきの風をさきさき	若菜長能
新松遠古下	いよてつとまのわが	とさきの風をさきさき	若菜長能
同巻二	いよてつとまのわが	とさきの風をさきさき	若菜長能
新千冬四	いよてつとまのわが	とさきの風をさきさき	若菜長能
新松遠集一	いよてつとまのわが	とさきの風をさきさき	若菜長能
新松遠集	いよてつとまのわが	とさきの風をさきさき	若菜長能
新千雜中	いよてつとまのわが	とさきの風をさきさき	若菜長能
松玉集四	いよてつとまのわが	とさきの風をさきさき	若菜長能
月清集十	いよてつとまのわが	とさきの風をさきさき	若菜長能
玉葉集三	いよてつとまのわが	とさきの風をさきさき	若菜長能
同巻	いよてつとまのわが	とさきの風をさきさき	若菜長能
松遠集下	いよてつとまのわが	とさきの風をさきさき	若菜長能
松遠集	いよてつとまのわが	とさきの風をさきさき	若菜長能
松遠集	いよてつとまのわが	とさきの風をさきさき	若菜長能
松玉集一	いよてつとまのわが	とさきの風をさきさき	若菜長能

玉葉集
新玉集
後古雅下
何古雅上
新葉雅集
後千雅中
後古雅中
松遠集
後古雅下
山家集
新葉集
松遠集
玉葉集
風雅集
後古雅中
松遠集
新玉集
新葉集
同雅中
拾玉集
新葉集
同雅中

大和物語
新玉集
風雅集
新玉集
後古雅
金葉集
新玉集
松遠集
長秋御下
新玉集
後千雅
後古雅
新玉集
同雅中
拾玉集
新葉集
同雅中

大和物語
新玉集
風雅集
新玉集
後古雅
金葉集
新玉集
松遠集
長秋御下
新玉集
後千雅
後古雅
新玉集
同雅中
拾玉集
新葉集
同雅中

大和物語
新玉集
風雅集
新玉集
後古雅
金葉集
新玉集
松遠集
長秋御下
新玉集
後千雅
後古雅
新玉集
同雅中
拾玉集
新葉集
同雅中

大和物語
新玉集
風雅集
新玉集
後古雅
金葉集
新玉集
松遠集
長秋御下
新玉集
後千雅
後古雅
新玉集
同雅中
拾玉集
新葉集
同雅中

大和物語
新玉集
風雅集
新玉集
後古雅
金葉集
新玉集
松遠集
長秋御下
新玉集
後千雅
後古雅
新玉集
同雅中
拾玉集
新葉集
同雅中

大和物語
新玉集
風雅集
新玉集
後古雅
金葉集
新玉集
松遠集
長秋御下
新玉集
後千雅
後古雅
新玉集
同雅中
拾玉集
新葉集
同雅中

大和物語
新玉集
風雅集
新玉集
後古雅
金葉集
新玉集
松遠集
長秋御下
新玉集
後千雅
後古雅
新玉集
同雅中
拾玉集
新葉集
同雅中

新松雜中	つゆしの世よりあらはれてきて	いももちつむらひのど	ち大納言長氏
後千林祇	みささくけとらむ玉津ま	いももちつむらひのど	ち大納言長氏
新松雜上	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	土井入る西平
山家集下	もろくまはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
後千林二	昔もいせはれはるを	いももちつむらひのど	後人つる氏
風雅志三	家あたれ秋のそとさくさくは	いももちつむらひのど	平宗宣
新松雜中	梓弓のひびきはらせよ	いももちつむらひのど	ち大納言長氏
風雅志下	日のちハ神のまゝとて	いももちつむらひのど	権中納言長氏
新松雜上	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	ち大納言長氏
山家集上	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
後松遺春下	ひらけの月をさへはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
月清集上	さるはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
松玉集四	氷あはれぬのころもあはれ	いももちつむらひのど	源有長朝臣
同七	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
新古冬	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
風雅志二	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
後千林三	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
新松雜二	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
後松遺春上	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
新松雜下	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
新松雜中	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
後松遺春中	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
同	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
風雅志二	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
松遺春上	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
大和物語	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
松玉集一	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣

後松遺春
 大納言長氏
 権中納言長氏
 源有長朝臣
 平宗宣
 ち大納言長氏
 権中納言長氏
 源有長朝臣

後千林二	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
後松遺春二	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
新松雜二	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
後松遺春上	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
大和物語	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣
松玉集一	あはれせまらけんはれはるを	いももちつむらひのど	源有長朝臣

大納言長氏
 権中納言長氏
 源有長朝臣
 平宗宣
 ち大納言長氏
 権中納言長氏
 源有長朝臣

原田

廿七

古今秋下

あさきとさきと花をねねのり
ひなのきほひのこゝろは
あけのぼるよりのあけ

山家集

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

松道相名

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

松玉集七

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

山口

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

玉葉雅三

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

壬生三上

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

後白樸春

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

風雅五

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

新千雅上

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

似撰玉上

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

松道冬

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

壬生三上

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

同

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

風雅賀

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

後白樸賀

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

松道若葉上

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

風雅若葉下

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

松道若葉上

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

松玉集三

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

山家集上

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

同

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

松道若葉上

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

松玉集六

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

風雅賀

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

玉葉若葉上

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

松道若葉下

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

新千秋上

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

拾玉集二

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

後古春下

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

後古雅下

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

後白樸下

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

松道若葉上

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

夜和

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

新格冬

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

後拾冬三

あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ
あけのぼるよりのあけ

類例

類例

和泉武敏

和泉武敏

凡雅多天 志意多んをむねとせむるを
長秋詠草上 志意多かりかひて思ひ申す
須磨 伴誓志多しち思ひのこも思ひ
拾遺巻上 志意多かりかひて思ひ申す
吾 志意多かりかひて思ひ申す
後古冬 志意多かりかひて思ひ申す
山家集下 志意多かりかひて思ひ申す
新拾遺 志意多かりかひて思ひ申す
新千只教 志意多かりかひて思ひ申す
新葉巻一 志意多かりかひて思ひ申す
全葉巻下 志意多かりかひて思ひ申す
於遺巻下 志意多かりかひて思ひ申す
末摘花 志意多かりかひて思ひ申す
新巻一 志意多かりかひて思ひ申す
後拾遺下 志意多かりかひて思ひ申す
後拾遺上 志意多かりかひて思ひ申す
後拾遺下 志意多かりかひて思ひ申す

新初冬 袖をむねとせむるを
後拾遺下 志意多かりかひて思ひ申す
玉葉巻上 志意多かりかひて思ひ申す
新葉巻 志意多かりかひて思ひ申す
於遺巻上 志意多かりかひて思ひ申す
新初冬下 志意多かりかひて思ひ申す
於遺巻下 志意多かりかひて思ひ申す
凡雅下 志意多かりかひて思ひ申す
新巻一 志意多かりかひて思ひ申す
後古冬 志意多かりかひて思ひ申す
新千只下 志意多かりかひて思ひ申す
拾玉集二 志意多かりかひて思ひ申す

類考

十一

七十九

同六	思入て暮暮と直の清乃	そら橋とらさるやい
後千と愛	いりて恨し袖もろりん	いそくくさるる月
長秋詠堂	うき世も心せりやわかれん	いそくくさるる月
山家集下	くみておとくさるる月	いそくくさるる月
新葉雜上	重の上おとくさるる月	いそくくさるる月
新古意八	いひもさるる月	いそくくさるる月
后拾遺卷三	ありま山ぬれさるる月	いそくくさるる月
山家集下	けり月のさるる月	いそくくさるる月
壬生三上	けり月のさるる月	いそくくさるる月
松葉集上	いそくくさるる月	いそくくさるる月
玉葉卷二	いそくくさるる月	いそくくさるる月
河花別	いそくくさるる月	いそくくさるる月
後古意四	いそくくさるる月	いそくくさるる月
月情集下	いそくくさるる月	いそくくさるる月
松玉集四	いそくくさるる月	いそくくさるる月
新千雜上	いそくくさるる月	いそくくさるる月
拾遺自外上	いそくくさるる月	いそくくさるる月
玉葉集上	いそくくさるる月	いそくくさるる月

壬生三下	あはれさるる月	いそくくさるる月
後古尺教	いそくくさるる月	いそくくさるる月
玉葉秋下	いそくくさるる月	いそくくさるる月
新後秋下	いそくくさるる月	いそくくさるる月
新千氣傷	いそくくさるる月	いそくくさるる月
新葉秋上	いそくくさるる月	いそくくさるる月
後千雜上	いそくくさるる月	いそくくさるる月
新千雜中	いそくくさるる月	いそくくさるる月
後後秋雜上	いそくくさるる月	いそくくさるる月
新秋雜中	いそくくさるる月	いそくくさるる月
後秋雜一	いそくくさるる月	いそくくさるる月
新古秋上	いそくくさるる月	いそくくさるる月
玉葉雜一	いそくくさるる月	いそくくさるる月
新後雜上	いそくくさるる月	いそくくさるる月
新千雜上	いそくくさるる月	いそくくさるる月
壬生三上	いそくくさるる月	いそくくさるる月
河花集上	いそくくさるる月	いそくくさるる月
壬生三中	いそくくさるる月	いそくくさるる月

頭カ

七十九

松玉集一 月清集下 松玉集六 壬生三上 後古雅三 風雅集下 新葉秋下 拾玉集七 友々堂藏 新葉集上 玉葉集 後千念又 於遠義傷 後古念三 玉葉集二 後古集下 千載雜上 拾玉集三

月清集下 松玉集六 壬生三上 後古雅三 風雅集下 新葉秋下 拾玉集七 友々堂藏 新葉集上 玉葉集 後千念又 於遠義傷 後古念三 玉葉集二 後古集下 千載雜上 拾玉集三

月清集下 松玉集六 壬生三上 後古雅三 風雅集下 新葉秋下 拾玉集七 友々堂藏 新葉集上 玉葉集 後千念又 於遠義傷 後古念三 玉葉集二 後古集下 千載雜上 拾玉集三

月清集下 松玉集六 壬生三上 後古雅三 風雅集下 新葉秋下 拾玉集七 友々堂藏 新葉集上 玉葉集 後千念又 於遠義傷 後古念三 玉葉集二 後古集下 千載雜上 拾玉集三

月清集下 松玉集六 壬生三上 後古雅三 風雅集下 新葉秋下 拾玉集七 友々堂藏 新葉集上 玉葉集 後千念又 於遠義傷 後古念三 玉葉集二 後古集下 千載雜上 拾玉集三

新拾遺 新拾遺上 新葉雜上 月清集上 新拾遺中 新拾遺下 新拾遺上 同念又 新拾遺上 後古集二 玉葉集四 拾玉集下 同念 千載雜上 後拾遺上 新拾遺

新拾遺 新拾遺上 新葉雜上 月清集上 新拾遺中 新拾遺下 新拾遺上 同念又 新拾遺上 後古集二 玉葉集四 拾玉集下 同念 千載雜上 後拾遺上 新拾遺

新拾遺 新拾遺上 新葉雜上 月清集上 新拾遺中 新拾遺下 新拾遺上 同念又 新拾遺上 後古集二 玉葉集四 拾玉集下 同念 千載雜上 後拾遺上 新拾遺

新拾遺 新拾遺上 新葉雜上 月清集上 新拾遺中 新拾遺下 新拾遺上 同念又 新拾遺上 後古集二 玉葉集四 拾玉集下 同念 千載雜上 後拾遺上 新拾遺

新拾遺 新拾遺上 新葉雜上 月清集上 新拾遺中 新拾遺下 新拾遺上 同念又 新拾遺上 後古集二 玉葉集四 拾玉集下 同念 千載雜上 後拾遺上 新拾遺

拾玉集四 秋のちもももとのあきさう
 後撰秋中 ありしはうらさきをぬきし
 拾遺抄名 秋の色をわらわらとわらわらと
 後撰雜二 芳名のまききていさしあきさ
 新千雅一 うらさきのいささきとさうり
 後古意二 夢とていささきとぬきぬきの乃
 古今書上 ねりともあきさきとあきさき
 新千意三 ちのさうりまききとさうりの
 後撰意二 君のいささきの山なるあきさ
 新千集一 人志れぬまききとさうり
 新千意三 けせしとあきさきのいささき
 風雅雜下 けしとあきさきのいささき
 拾遺意二 けしとあきさきのいささき
 拾玉集六 けしとあきさきのいささき
 古今意二 けしとあきさきのいささき
 拾玉集七 けしとあきさきのいささき
 同六 けしとあきさきのいささき

拾遺意上 けしとあきさきのいささき
 新千雅中 けしとあきさきのいささき
 新千秋上 けしとあきさきのいささき
 松玉集一 けしとあきさきのいささき
 壬生二系中 けしとあきさきのいささき
 山家集 けしとあきさきのいささき
 新古羈旅 けしとあきさきのいささき
 拾遺意上 けしとあきさきのいささき
 拾遺意中 けしとあきさきのいささき
 新千意二 けしとあきさきのいささき
 後撰書上 けしとあきさきのいささき
 壬生二系下 けしとあきさきのいささき
 後撰撰書 けしとあきさきのいささき
 古今雅二 けしとあきさきのいささき
 後撰撰書二 けしとあきさきのいささき
 後撰選別 けしとあきさきのいささき
 五葉集三 けしとあきさきのいささき
 新千雅下 けしとあきさきのいささき

後送雜三 志ぬらうらひさきよき新り
 千載集下 楠花うき力にうなるれ
 於送別 けしきいあはれあひし
 新古雜別 ありてありてあむの道は
 新古冬 中しよ清ききあては中人乃
 新古冬三 ちひあひあひあひあひあひ
 於送冬三 ひろくあひあひあひあひあひ
 後送冬三 うきあひあひあひあひあひ
 後送冬三 こころあひあひあひあひあひ
 新古冬二 ありあひあひあひあひあひ
 新古冬二 後送冬三あひあひあひあひ
 壬生三系上 後送冬三あひあひあひあひ
 於玉集六 海さあひあひあひあひあひ
 後送冬三 けりあひあひあひあひあひ
 新古冬三 ひろくあひあひあひあひあひ
 新古冬三 けりあひあひあひあひあひ
 拾遺集草中 後送冬三あひあひあひあひあひ

後送冬 天の海さあひあひあひあひ
 新古冬 ちろくあひあひあひあひあひ
 風雅雜上 ちろくあひあひあひあひあひ
 於送冬上 けりあひあひあひあひあひ
 於玉集六 ありあひあひあひあひあひ
 於送雜三 ありあひあひあひあひあひ
 後送冬下 ありあひあひあひあひあひ
 新古冬下 ありあひあひあひあひあひ
 張於雜中 ありあひあひあひあひあひ
 於玉集七 ありあひあひあひあひあひ
 同四 ありあひあひあひあひあひ
 後古雜中 ありあひあひあひあひあひ
 不東雜下 ありあひあひあひあひあひ
 山亦集下 ありあひあひあひあひあひ
 長秋詠集下 ありあひあひあひあひあひ
 後古雜下 ありあひあひあひあひあひ
 長秋詠集下 ありあひあひあひあひあひ
 玉葉春下 ありあひあひあひあひあひ

同三
 新秋古多又 かくて何のうらみしと
 同三 夏ぬも程をゆきわたりて
 秋千意二 ありそとそ神のちもれかた
 新秋意四 ちひてそ風をさかへてかた
 同雅意三 ひひりちかかゆる程のちか
 新千意四 きぬくの神のち今やんと
 新秋意三 さしひらけはなさをまて
 新秋意三 帰のちかきもあつてそとの
 新秋意二 ありちゆき吹風もちか
 新秋意三 まりちひひとつとまのち
 後撰意二 思ひちとあけしんちかき
 大和物語 わせれとたぬちかき
 新秋意二 きぬく乃 塵ちかき
 玉葉意一 ぬけちかかちかか
 新千意三 さしひらけはなさをまて
 古今意二 ちひとそひすくしとあふ
 同雅意一 かくちひとそひすくしとあふ

若菜隆房
 梅葉使
 道贈
 武名
 後三
 安徳
 源朝
 中務
 近衛
 行武
 武名
 武名
 武名

玉葉意一 玉幹のちゆきとあふ
 新秋意二 秋あつて何のちかき
 新秋意三 ありちゆき吹風もちか
 玉葉意二 ぬけちかかちかか
 同雅意三 さしひらけはなさをまて
 古今意二 ちひとそひすくしとあふ
 同雅意一 かくちひとそひすくしとあふ

新秋意一 秋あつて何のちかき
 玉葉意二 ぬけちかかちかか
 同雅意三 さしひらけはなさをまて
 古今意二 ちひとそひすくしとあふ
 同雅意一 かくちひとそひすくしとあふ

新秋意一 秋あつて何のちかき
 玉葉意二 ぬけちかかちかか
 同雅意三 さしひらけはなさをまて
 古今意二 ちひとそひすくしとあふ
 同雅意一 かくちひとそひすくしとあふ

新秋意一 秋あつて何のちかき
 玉葉意二 ぬけちかかちかか
 同雅意三 さしひらけはなさをまて
 古今意二 ちひとそひすくしとあふ
 同雅意一 かくちひとそひすくしとあふ

新秋意一 秋あつて何のちかき
 玉葉意二 ぬけちかかちかか
 同雅意三 さしひらけはなさをまて
 古今意二 ちひとそひすくしとあふ
 同雅意一 かくちひとそひすくしとあふ

新秋意一 秋あつて何のちかき
 玉葉意二 ぬけちかかちかか
 同雅意三 さしひらけはなさをまて
 古今意二 ちひとそひすくしとあふ
 同雅意一 かくちひとそひすくしとあふ

夏

玉

古今類句目錄

古今	後撰	拾遺	後拾遺	金葉	詞花	千載	新古今
一	二	三	四	五	七	八	
春	春	春	春	春	春	春	春
夏	夏	夏	夏	夏	夏	夏	夏
秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋
冬	冬	冬	冬	冬	冬	冬	冬
賀	賀	賀	賀	賀	賀	賀	賀
別	別	別	別	別	別	別	別
戀上	戀上	戀上	戀上	戀上	戀上	戀上	戀上
戀下	戀下	戀下	戀下	戀下	戀下	戀下	戀下
雜上	雜上	雜上	雜上	雜上	雜上	雜上	雜上
雜下	雜下	雜下	雜下	雜下	雜下	雜下	雜下
一	二	三	四	五	六	七	八
九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六
十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四
二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二
三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十
四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八
四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六
五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四
六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二
七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十
八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八
八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六
九十七	九十八	九十九	一百				

於遺詠系 ありかむらしむるあまのつらき 人のこころなきや
 新古今集 ありかむらしむるあまのつらき 人のこころなきや
 後拾遺集 ありかむらしむるあまのつらき 人のこころなきや
 同雅中 ありかむらしむるあまのつらき 人のこころなきや
 後拾遺集 ありかむらしむるあまのつらき 人のこころなきや
 拾遺集 ありかむらしむるあまのつらき 人のこころなきや
 月清集上 ありかむらしむるあまのつらき 人のこころなきや
 新古今集 ありかむらしむるあまのつらき 人のこころなきや
 拾遺集 ありかむらしむるあまのつらき 人のこころなきや
 壬生三上 ありかむらしむるあまのつらき 人のこころなきや
 新古今集 ありかむらしむるあまのつらき 人のこころなきや
 後拾遺集 ありかむらしむるあまのつらき 人のこころなきや

九	新裁撰	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十	續後撰	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十一	續古今	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十二	續拾遺	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十三	新後撰	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十四	玉葉	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十五	續千載	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十六	續後拾遺	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十七	風雅	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十

六	新千載	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
九	新拾遺	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十	新續古今	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十一	新業	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十二	月清集	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十三	拾玉集	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十四	長秋詠藻	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十五	拾遺愚草	春上	一二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十

狹衣			源氏物語	大和物語	伊勢物語	拾遺集	山家集	壬生三系
一	舟	乙女	花散里	梳奩		上	上	上
二	蜻蛉	梅枝	須磨	簾木		下	下	中
三	手習	藤裏	明石	空蟬		定家卿	西行法師	下
四	夢浮橋	若菜	夕顏	若紫				家隆卿
	橋姫	螢	蓬生	未摘花				
	推本	常夏	網屋	紅葉				
	総角	籬火	繪合	花宴				
	早蕨	鈴虫	松風	薄雲				
	寄木	夕霞	御幸	櫛				
	東							

昭和十年十二月、藤園堂にて求む。
 估価参万五千円。
 村井順

